

ティーンズ祭【本読むところに福来る】のお知らせ

日時：5月3日（土）10時 30 分～16時

場所：諫早図書館 1階 展示ホール



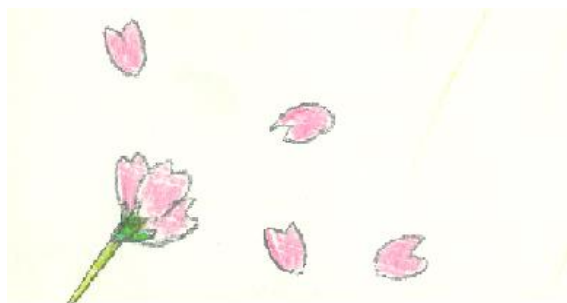
内容：おすすめ本の紹介や、おはなし会、おみくじなど

どなたでも参加できます。ティーンズスタッフ揃ってお待ちしております。



君がため 春の野に出でて 若菜つむ
わか衣手に 雪は降りつつ
ひさがたの 光のどけき 春の日に
しづかに 花の散るらむ
いにしへの 奈良の都の 八重桜
今日九重に にほひぬるかな

図書館の本を参考に、歌の訳を調べてみましょう。
『原色小倉百人一首』 鈴木日出男／山口慎一／
依田泰／共著（文英堂）
『光琳カルタで読む百人一首ハンドブック』
久保田淳／監修（小学館）



（ティーンズスタッフ：ジンベエ）

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

Vol.
35



(ティーンズスタッフ：ばばはる)

2025. 春号 (2025. 4月 発行)

わたしたちのおすすめ本



『あたしの幸せな結婚』
顎木あくみ／[著]（富士見文庫/KADOKAWA）



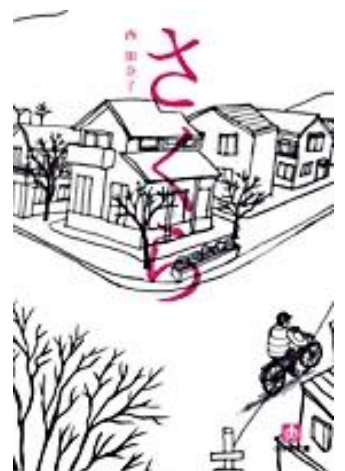
幼い頃に母を亡くし、継母と義妹に虐げられて育った美世。居場所のない日々を送っていた彼女は、19歳になったある日、父から突然の婚入りを命じられる。しかし、その相手は「冷酷無慈悲」と噂され、婚約候補者が3日と持たずに逃げ出すという軍人・清霞だった……。この本は、運命に翻弄されながらも、互いに寄り添い、愛を見つけていく二人の物語。読み終わった時、二人の優しさに心があたたまると！この春、あなたにも素敵な出会いが訪れるかもしれません。

（ティーンズスタッフ：アリ）



『さくら』
西加奈子／著（小学館文庫）

「サクラ」は犬の名前。僕の家にいるさくらは子供の頃、妹のミキと近所にもらいに行った犬だ。周りの元気な犬ではなく僕はサクラがいいと思った。家族が変わってもサクラは変わらずそこにいてしっぽを振っている。さくらに対してだけは僕らはそのままいられる。ちょっぴり風変わりな家族の物語です。



（ティーンズスタッフ：新緑）





『 学園ミステリー 』

恩田陸 米澤穂信 青崎有吾／著 千街晶之／編
(汐文社)



一人ひとりの学生が抱えているいろいろな複雑な思い、考え、この本は学園がテーマとされており「水晶の夜、翡翠の朝」(恩田陸)、「鏡には映らない」(米澤穂信)、「メロンソーダ・ファクトリー」(青崎有吾)の3つの短編小説がギュッと収録されています。

憎しみが生んでしまった悲しい末路や気づけなかった相手の心の中。全てスラッと読めますが、後味はしっかり残る。この本を読んで、みなさんも不思議なミステリーを体験してみませんか？

(ティーンズスタッフ：トロンボーン)



『 旅屋おかえり 』

原田マハ／著 (集英社)



主人公の“おかえり”はちょっと抜けてる感じで度々30代ってことを忘れるおばちゃんキャラです。スポンサーの名前を間違えて連呼したことが原因でテレビの旅番組を打ち切られた彼女が始めたのは、人の代わりに旅をする仕事でした。満開の桜を求めて秋田県角館へ、依頼人の姪を探して愛媛県内子町へおかえりは行きます。取り巻く人たちもクセツヨなのに、基本まっすぐで裏がないから、作者の文章が上手で心温まるストーリーに涙しました。

旅先の風景や、出会った人も情景が浮かぶ作品でした。

始めから最後まで、飽きることなくよみやすかったです。

(ティーンズスタッフ：蟹座)

